

## 令和5年度・現地調査報告（宮城県：10月5日）

## ●実施日

令和5年10月5日（木）

## ●参加委員

今村委員長、浅野委員、奥野委員、戸塚委員、藤沢委員、山名委員（計6名）

## ●訪問先

宮城県松島町、塩竈市、仙台市

## ●行程

## 【松島町】

①瑞巖寺～松島海岸

## 【塩竈市】

②塩釜水産物仲卸市場

## 【仙台市】

③震災遺構 仙台市立荒浜小学校

④JRフルーツパーク仙台あらはま

⑤宮城復興局仙台支所

（宮城県の被災者支援の取組）



## ①瑞巖寺～松島海岸

○瑞巖寺（国宝）・門前通り・松島海岸を徒歩視察の後、観瀾亭において、観光業界関係者から被災地の観光の現状等について説明を聴取し、意見交換を実施。

〈意見交換の主な内容〉

- ・ 団体旅行の減少と個人旅行の増加などコロナ禍後の観光形態の変化
- ・ インバウンドのアジア系への偏りや冬季の観光客減少など今後に向け改善すべき課題



観瀾亭での意見交換の様子

## ②塩釜水産物仲卸市場

○市場内を視察しつつ、復興庁の新ハンズオン支援事業により開始された「朝勝」の取組等について説明を聴取。

○その後、塩竈市及び水産関係者から、水産業の現状や販路拡大等の取組について説明を聴取し、意見交換を実施。

〈意見交換の主な内容〉

- ・ グループ補助金を受けた会社が倒産した場合の施設・設備の取扱いなど
- ・ 東京電力による賠償に対する国の指導等
- ・ ALPS処理水についての情報発信の在り方、販路開拓等へのきめ細かな支援
- ・ 「三陸・常磐もの」についての地域・県域一体となったブランディングの必要性
- ・ 外部から来た人、若者による新たな視点でのアドバイス・チャレンジの重要性



塩釜水産物仲卸市場での視察の様子



水産関係者等との意見交換の様子

## ③震災遺構 仙台市立荒浜小学校

○荒浜小学校を視察しつつ、語り部の話や、仙台市における震災伝承の取組、移転元地の活用状況等についての説明を聴取した後、意見交換を実施。

〈意見交換の主な内容〉

- ・ 丁寧な意向調査や合意形成など震災遺構を残すに当たってのプロセス
- ・ 中長期的に伝承を継続していく上での課題（建物の耐久性、維持管理費など）
- ・ 語り部など伝承活動を担う人材の確保・育成、教育旅行の充実



荒浜小学校での視察の様子



#### ④JRフルーツパーク仙台あらはま

○JRフルーツパーク仙台あらはまは、移転元地を活用して令和3年3月に開設された大規模観光農園。震災復興・地域連携・農業振興を目的として取り組んでおり、約8.5haの土地でいちご・ブドウ・梨など8品目156品種を栽培。環境制御システムやジョイント栽培など、新たな農業技術も取り入れている。

○農園で梨の栽培状況を視察するとともに、事業者からこれまでの成果と課題について説明を聴取し、意見交換を実施。

〈意見交換の主な内容〉

- ・ インバウンド増加のための工夫（多言語化、他団体との連携、震災ツーリズムなど）
- ・ 福島原子力災害被災地域における同様の取組の可能性と課題
- ・ 教育旅行等で市外・県外のこどもたちを呼び込むための取組
- ・ 他の生産地との競争に打ち勝つための商品開発や宣伝PRなど



梨の栽培状況の視察の様子



JRフルーツパーク仙台あらはまでの意見交換の様子

#### ⑤宮城復興局仙台支所（宮城県の被災者支援の取組）

○「みやぎ心のケアセンター」（宮城県の委託を受けて（公社）宮城県精神保健福祉協会が運営）から心のケアについて説明を聴取するとともに、宮城県から、その他の被災者支援事業について説明を聴取し、意見交換を実施。

〈意見交換の主な内容〉

- ・ こどもの心のケアに当たっての特別な配慮・対応
- ・ 震災から12年以上が経過する中での相談内容の変化、震災特有の悩みと現代社会一般の悩みとの線引き
- ・ 令和8年度からの一般施策への移行等に向けた取組状況（他機関との連携対応など）
- ・ 受け皿となる市町村等の保健師などの人材育成推進
- ・ 今回の震災による対応実績・ケーススタディの将来への伝承



被災者支援に係る意見交換の様子



（参考）昼食メニュー